

# 子ども学の ひろば

本橋成一監督作品  
『ナージャの村』1997年日本・ベラルーシ 118分  
『アレクセイと泉』2002年日本 104分  
DVDツインパック (紀伊國屋2011)

いずれの作品も、1986年チェルノブイリ原発事故後、放射能に汚染され、強制移住地区や避難勧告地区になり地図から消えたベラルーシ共和国の村に住み続ける人々の暮らしを描いたドキュメンタリー映画です。

「いのちの大地の物語」とパッケージにある通り、美しく豊かな自然とその中で素朴に暮らす人々が、息を呑むような美しい映像で綴られています。豊かさとは何かということを見る私たちに問いかけます。

本橋成一氏の作品は他に写真集、絵本などがあります。(K)

<http://polepoletimes.jp/times/shop/motohashi/>

## ● 取材こぼれ話 ～編集部～ ●

「私は記録係として何度かインタビューに立ち会わせていただきました。その際、お話に着き込まれ、気付くと記録する手が止まっている瞬間がありました。手を止めてゆっくり考えたいような深いお話をいつも聞かせていただいています (RK)」。

……このコメントを寄せてくれたKさんは大学院生ですが、座談会やインタビュー取材の時には、PC打ち込みやテープ起こしをたびたびお願いしてきました。編集部の方かせない助っ人の一人です。(H)

## 松野クララ顕彰碑のお知らせ

顕彰碑建設募金活動が実り、青山霊園外人墓地(松野家の墓地内)に顕彰碑を建設、昨年11月3日に除幕式を行いました。大きな松の木が目印です。お近くにいられした際はどうぞお立ち寄りください。



顕彰碑建設の記録を作成しました。津守真生先生など除幕式参加者の言葉やクララの資料を掲載した貴重な記録です。

1部1000円でお分けします。ご希望の方は、お茶の水女子大学附属幼稚園(03-5978-5881)まで。

## 絵本の紹介

『ぶたにく』 大西暢夫 幻冬舎 2010年

「食べる」とは何か。「生きる」とは何か。

生命のサイクルを巡る問いが読者に迫ってくるドキュメンタリー写真絵本。舞台は鹿児島市にある知的障害のある人たちの福祉施設「ゆうかり学園」の豚舎。学園の豚は、学園内や近隣の学校の残飯、学園で育てている低農薬野菜などを飼料とし、配合飼料は一切使用しない。そのため生育期間はゆったりと長くなる。その間、豚たちは利用者になつたりと愛されて育つのだという。おっとりとした穏やかな豚たちの表情は、3年間豚舎に通って撮影に取り組んだ大西カメラマンのまなざしと重なって見える。さて、心を込めて育てた豚がやがて学園内で豚肉になり、ソーセージ等に加工される。その現実に向き合うひとときを、静かに子どもと共有していただければ、と思う。(S)